

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス 目次

No.	学科等	科目名	学科(専攻)・学年	担当教員	備考
1	一般教養	言語と表現	介護福祉専攻・2年	鶴橋 俊宏	
2	一般教養	音楽通論	全学科・1年	山本 学	
3	一般教養	生活と法	歯科衛生学科・2年	根本 猛	
4	一般教養	発達と教育	全学科・1年	大賀 志真	
5	一般教養	地域文化論	全学科・2年	繁原 幸子	
6	一般教養	日本経済論	歯科衛生学科・2年 社会福祉専攻・2年 介護福祉専攻・1年 こども学科・2年	佐々木 崇暉	
7	一般教養	地域社会論	全学科・1年	志田 倫子	
8	一般教養	生活の化学	介護福祉専攻・2年	野嶋 秀子	
9	一般教養	医療福祉システム論	歯科衛生学科・1年 社会福祉専攻・2年 介護福祉専攻・1年 こども学科・2年	江原 勝幸 吉田 直樹 深江 久代	
10	一般教養	情報と生活	全学科・1年	野村卓志	
11	歯科衛生学科	病態学	歯科衛生学科・1年	古賀 震	
12	歯科衛生学科	微生物学	歯科衛生学科・1年	吉田 直樹	
13	歯科衛生学科	歯科薬理学	歯科衛生学科・1年	川口 充 大久 保みぎわ 四宮 敬史	
14	歯科衛生学科	歯科衛生統計学	歯科衛生学科・2年	吉田 直樹	
15	歯科衛生学科	衛生学・公衆衛生学	歯科衛生学科・1年	眞木 吉信	
16	歯科衛生学科	歯周治療学	歯科衛生学科・2年	吉田 直樹	
17	歯科衛生学科	歯科補綴学	歯科衛生学科・2年	千綿 一郎	
18	歯科衛生学科	歯科診療補助論	歯科衛生学科・1年	中野 恵美子	
19	歯科衛生学科	歯科受療支援論	歯科衛生学科・1年	中野 恵美子	
20	社会福祉専攻	社会調査の基礎	社会福祉専攻・1年	久保 幸恵	
21	社会福祉専攻	福祉行財政と福祉計画	社会福祉専攻・2年	佐藤 仁之	
22	社会福祉専攻	司法福祉	社会福祉専攻・2年	佐々木 光郎 竹内 政昭	
23	社会福祉専攻	家族支援論	社会福祉専攻・2年 こども学科・2年	奥田 都子	
24	社会福祉専攻	社会的養護内容	社会福祉専攻・1年 こども学科・1年	松浦 崇	
25	社会福祉専攻	臨床心理学	社会福祉専攻・2年 こども学科・2年	三田 英二	要面接
26	こども学科	保育・教育課程論	社会福祉専攻・2年 こども学科・1年	永倉 みゆき	
27	こども学科	教育原理	こども学科・1年	永倉 みゆき	

## 平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.1

科目名	言語と表現		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科介護福祉専攻・2年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	鶴橋 俊宏		
授業の目的 (GIO)	1. 主として日本語を対象とし、音声・音韻、語彙、文法など言語学の諸分野について概説する。言語学的なものの捉え方を理解することを目指す。 2. 文・文章を構造的、論理的にとらえる能力を涵養するために、推論の方法、レトリック、文章の構造について概説する。		
授業の到達目標 (SBOs)	1. 言語の単位についての知識を得る。 言語の構造を分析的に把握する能力を得る。 ことばの意味を分析的にとらえられる。 2. 演繹と帰納の違いを説明できる。 レトリックの種類と働きについての知識を得る。 文と文との関係を俯瞰的にとらえる能力を得る。		
授業の計画と 内容	1. 言語における明晰性とは何か 2. 言語の単位 3. ことばの意味 4. 文の構造1、形態論入門 5. 文の構造2、構文論入門 6. 悪文とは 7. 文章の基本構成 8. 文章の種類と型(物語文・説明文・報告文) 9. アウトラインとパラグラフ 10. テキスト批判あるいは critical reading 11. 推論の方法(演繹と帰納) 12. 言語の位相、文体 13. 日本語の表記法 14. 敬語 15. レトリック		
評価の方法	試験70%、平常点30%		
テキスト	「言語と表現」(私家版・配布)およびプリント		
参考書	授業時に指示		
学生への メッセージ	ことばによる表現を考えるということは、上手に話したり書いたりする「錬金術」を求めることではなく、深く考え、自分自身と向かい合う経験である。批判的精神と論理的思考を以て主体的に考える経験を通してのみ、技法は技法として生きるものであることを忘れないでほしい。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.2

科目名	音楽通論		
学科(専攻)・学年	全学科・1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	山本 学		
授業の目的 (GIO)	音楽を通じて芸術的感性と素養を養うこと、および幅広い教養を得ることを目的とする。 街で耳にしたあのクラシック音楽はなんて曲だろう、音楽の美しさとその背景について知りたい、楽譜が読めるようになりたい、そんな思いに教養科目として答えたいと考える。音楽の通論として広く一般的に論ずるために、音楽史、演奏、鑑賞、楽典(音楽理論)を有機的に複合しながら理解していく方法で講義を進めていく。		
授業の到達目標 (SBOs)	○音楽史の概要とクラシックの名曲を結びつけて理解する。 ○楽譜の基本的な仕組みについて理解し、初歩の読譜力を身につける。 ○音楽を通じて、芸術的感性と素養を養う。		
授業の計画と 内容	第1講 西洋音楽史の俯瞰／音名／のためカンタービレとクラシック音楽(第5講まで) 第2講 古代・中世の音楽／音と音楽の概念・要素 第3講 ルネサンスの音楽1／楽譜の読み方1 譜表 第4講 ルネサンスの音楽2 C.モンテヴェルディ“ecco mormorar l'onde”／楽譜の読み方2 クレ読み 第5講 バロックの音楽1／楽譜の読み方3 まとめ 第6講 バロックの音楽2 J.S.バッハ／拍子記号と音符の長さ／指揮者 C.クライバーの音楽 第7講 古典派の音楽 ハイドン・モーツァルト／4拍子のリズム／指揮者小澤征爾の音楽 第8講 古典派からロマン派へ /3拍子のリズム／サン＝サーンス“動物の謝肉祭” 第9講 ピアノ鍵盤と楽典1 演奏／日本の年末のクラシック1 ヘンデル“メサイア” 第10講 ピアノ鍵盤と楽典2 連弾／日本の年末のクラシック2 ベートーヴェン“第九” 第11講 ロマン派の音楽 シューマン、メンデルスゾーン、ブラームス、リスト、ショパン 第12講 近代の音楽 ドビュッシー、ラヴェル、ラフマニノフ 第13講 オペラの魅力1 ビゼー“カルメン”第1幕、第2幕 第14講 オペラの魅力2 ビゼー“カルメン”第3幕、第4幕 第15講 現代の音楽 S.ライヒ“city life”(サウンドスケープ、ミニマル、サンプリング、言葉の旋律)、J.ケージ		
評価の方法	授業中の提出物 70%、期末レポート 30%により評価する。		
テキスト	授業中に適宜、資料を配布する。		
参考書	特になし		
学生への メッセージ	この授業でたくさんの音楽に触れ、その背後にある深淵な世界に思考と感性を広げていきましょう。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.3

科目名	生活と法		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・2年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	根本 猛		
授業の目的 (GIO)	身のまわりの法律問題に触れるなかで、法や裁判に関心を持つ。		
授業の到達目標 (SBOs)	長い人生のなかで困ったとき、法や裁判が役に立つかもしれないことを思い出せる。また、そのための必要最低限の知識を身につける。		
授業の計画と 内容	第1講 借りたお金を返せという判決に従わないと刑務所？ 強制労働？－法とは 第2講 結婚するかどうかは誰が決める？ 第3講 妊娠しちやっただけ産まないのも自由？ 第4講 離婚と相続 第5講 悪質商法にだまされるな－消費者の保護 第6講 お金を借りたいときは？－利息制限法 第7講 快適な貸貸をめざせ－借家人の保護 第8講 有給休暇を申請したら断られた－労働者の保護 第9講 もうかるハナシはリスクが大きい－株式市場とは 第10講 マージャンでお金を儲けたらマズい？－刑法とは 第11講 憲法とは－立憲主義と日本国憲法の生い立ち 第12講 「普通の国」には軍隊が…日本の平和は？－平和主義 第13講 未成年者に選挙権がないのは差別？－法の下での平等 第14講 退廃的なポルノや邪教は禁止したほうがよい？－精神的自由権 第15講 週60時間働いて時給600円でも仕方がない？－社会権と経済的自由権		
評価の方法	期末試験(100%)		
テキスト	副田隆重他『ライフステージと法』有斐閣		
参考書	初宿正典他『いちばんやさしい憲法入門』有斐閣		
学生への メッセージ	大学生になったら、新聞を読みましょう。		

## 平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.4

科目名	発達と教育		
学科(専攻)・学年	全学科・1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	大賀 志真		
授業の目的 (GIO)	人間の心身の諸側面における発達について教育的視点から理解し、さまざまな教育の在りようを考察する。あわせて現代の教育の状況と環境についても検討する。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で行う活動において、他者とのかかわりについて学び考えとともに、発達のおよび教育的視点を持って意見を述べるができる。</li> <li>・授業で扱った発達および教育に関する知識をもとに、教育の在り方について自分なりの考察を述べるができる。</li> </ul>		
授業の計画と内容	第1講 発達とは何か 第2講 身体と運動の発達 第3講 知能の発達 第4講 情緒の発達 第5講 社会性の発達 第6講 自我の発達 第7講 教育とは何か 第8講 学習の原理 第9講 学習と指導 第10講 人格形成と適応 第11講 発達の障害Ⅰ 第12講 発達の障害Ⅱ 第13講 教育相談 第14講 教育の現代的課題 第15講 まとめ		
評価の方法	授業態度40% 試験結果60%		
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。		
参考書	授業時に紹介する。		
学生へのメッセージ	人間の発達と教育の可能性にロマンを感じてもらえたら嬉しいです。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.5

科目名	地域文化論		
学科(専攻)・学年	全学科・2年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	繁原 幸子		
授業の目的 (GIO)	静岡県は伊豆・駿河・遠州が明治以降ひとつになった県である。それぞれの地域には様々な行事や信仰、習慣が伝承されていて、その地域文化を特徴付けている。これらの事例を民俗学の視点から静岡県内外、さらに中国、韓国、台湾といったアジア地域等と比較しながら分析し、静岡県の地域性を明らかにしていきたい。講義は具体的フィールドによる事例を踏まえて進めていく。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 静岡各地域の文化に対する関心が深まる。</li> <li>2 静岡の民俗文化が現在にどう生かされているかが学べる。</li> <li>3 常に他地域との文化を比較するという目が持てる。</li> <li>4 近現代の庶民の歴史が学べる。</li> </ol>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 オリエンテーション。地域文化と民俗学概論</p> <p>第2講 災害と民俗。災害がどう伝承されてきたかを考察する。</p> <p>第3講 衣服の民俗。衣服の呪術性を考察する。</p> <p>第4講 山間地の民俗①雑穀文化。焼畑文化と、雑穀食とその栽培の今昔を考察する。</p> <p>第5講 山間地の民俗②狩猟文化。今静岡の山間地で何が起きているか知る。</p> <p>第6講 海の民俗①漁師の生活や信仰の今昔を知る。</p> <p>第7講 海の民俗②漁師町の食生活・衣生活を知る。</p> <p>第8講 年中行事①年中行事の意味。年の初めの年中行事</p> <p>第9講 年中行事②他地域との比較。</p> <p>第10講 年中行事③時代と変化、その意味を考える</p> <p>第11講 人生儀礼①結婚、出産の今昔を考察する。</p> <p>第12講 人生儀礼②年祝いと葬式の今昔とグリーンケアーを考察する。</p> <p>第13講 祭文化①静岡県内の伝統の祭の変容と問題点を考える。</p> <p>第14講 祭文化②各地の祭と静岡の祭を比較する。</p> <p>第15講 地域文化論のまとめ</p>		
評価の方法	定期試験70% 普段の提出物(コメントシート) 20% 授業態度10%		
テキスト	特に定めない。毎回資料プリントを配布する。		
参考書	授業時に紹介する。		
学生への メッセージ	新聞を読むこと。常に各地域の民俗文化に関心を持ち、注目すること。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.6

科目名	日本経済論			
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・2年 社会福祉学科社会福祉専攻・2年 社会福祉学科介護福祉専攻・1年 こども学科・2年	単位数	2.0	
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義	聴講可
担当教員	佐々木 崇暉			
授業の目的 (GIO)	<p>経済学は概念・理論・モデルを活用して経済現象を分析する学問です。経済学的概念・理論・モデルを学び経済学的なものの方・考え方を身につけることが重要です。この授業では、このような経済学的ツールを使って日本経済の特徴や構造的変化を理解することを目的とします。また日本経済論という科目を学ぶことにより、「日本経済を見る眼」を養うことが重要です。いまの日本経済にはどのような特徴があるのか。どのような問題を抱えているのか。どのような解決策が考えられるのか。こうした事柄について、説得力がある考えを持つためには、「日本経済を見る眼」が必要なのです。これを養うことこそ、日本経済論の目的です。</p>			
授業の到達目標 (SBOs)	<p>到達目標の一つは日本経済を分析する上で最低限必要な経済概念・経済理論・マクロ・モデルを理解すると同時に、それらを活用して、日本経済の特徴や構造的変化を捉えることができるようになることです。目標の二つ目は経済データを分析できる能力を身に着けることです。多くの経済データが公表されていますが、それらをどのように収集し、どのように分析するか。「日本経済を見る眼」を養う上で大切な能力です。</p>			
授業の計画と 内容	<p>第1講 ガイダンス 第2講 経済学とはどんな学問か 第3講 いろいろな経済学 第4講 今はどんな時代か①～大量生産＝大量消費体制の行き詰まり 第5講 今はどんな時代か②～新自由主義経済学の台頭と経済の行き詰まり 第6講 戦後の日本経済はどのように構造的に変化してきたのか 第7講 高度経済成長とは～経済成長をみるメガネと成長の仕組み 第8講 安定成長期の日本経済～Japan as NO.1 第9講 バブルって何～その発生と崩壊のメカニズム 第10講 平成不況～何故不況が長期化したのか 第11講 日本経済の構造改革と「実感なき景気回復」～その光と影 第12講 リーマンショックと世界同時不況 第13講 アベノミクスとその問題点 第14講 日本経済の再生～社会保障や社会福祉は経済を救えるか 第15講 まとめ 期末試験 授業目的の達成度を評価する</p>			
評価の方法	コメントシートの提出(10%)、課題提出(20%)、期末試験(70%)			
テキスト	講義要項のプリントを配布します			
参考書	講義時に紹介します			
学生への メッセージ	<p>毎回コメント・シートを配布しますので、その授業に対する感想や質問を書いてください。質問については、回答をプリントにして次回の授業で配布します。できるだけ双方向型授業を心がけたいと思っています。</p>			

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.7

科目名	地域社会論		
学科(専攻)・学年	全学科・1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	志田 倫子		
授業の目的 (GIO)	<p>今日、都市化・国際化・情報化に見られる社会のグローバル化が進展する一方で、改めて身近な生活の場である地域社会・コミュニティに関心が集まっています。かつて生活の基礎・基盤をなしてきた共同体的な地域社会は、近代化の過程で崩壊したかに思われましたが、その後、再びその役割が注目され、これまでとは違った形で作ることが求められてきています。こうした経緯を追いながら、時代ごとの地域社会の特徴やその変化の過程で生じる問題点を理解し、さらに今日の地域社会の形成、コミュニティづくりについて考察していきます。すなわち講義では地域社会の定義、今日の地域社会の特徴と変化、地域社会・コミュニティ形成の過程や方法などを考察するとともに、福祉社会として現代社会を特徴づける地域福祉とその根幹をなす福祉コミュニティについて言及していきます。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<p>都市・農村、コミュニティ研究について概観し、戦後の日本のコミュニティ形成について理解を深める。</p>		
授業の計画と 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 講義概要の紹介(ガイダンス)</li> <li>2 地域社会論への導入</li> <li>3 日本の農村社会</li> <li>4 都市化社会(1)ー都市化社会とはー</li> <li>5 都市化社会(2)ーイギリスの産業革命ー</li> <li>6 都市化社会(3)ーシカゴ学派の都市社会学ー</li> <li>7 日本のコミュニティ形成(1)ーコミュニティの定義ー</li> <li>8 日本のコミュニティ形成(2)ー生活の場における人間性の回復ー</li> <li>9 日本のコミュニティ形成(3)ーコミュニティ・モデルー</li> <li>10 日本のコミュニティ形成(4)ーコミュニティづくりの条件と進め方ー</li> <li>11 掛川市の生涯学習まちづくり運動(1)ー草創期の取り組みー</li> <li>12 掛川市の生涯学習まちづくり運動(2)ーとはなにか学舎の講座のシステムー</li> <li>13 地域生活の現状分析(1)ーエスニック集団と地域社会ー</li> <li>14 地域生活の現状分析(2)ー外国人居住者と再生産ー</li> <li>15 地域生活の現状分析(3)ー高齢化と地域社会ー、地方創生のまちづくり</li> </ol>		
評価の方法	<p>授業中の提出物(40%)、期末試験(60%)</p>		
テキスト	<p>テキストは指定しないが、地域社会学や関連の基本的な参考図書を授業中に紹介する。</p>		
参考書	<p>授業中に紹介する。</p>		
学生への メッセージ	<p>生活に密着した地域社会の現状、変化、問題に絶えず関心をもち、あわせて、地域社会で自分が何ができるかを考えながら授業にのぞんでください。</p>		



平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.8

科目名	生活の化学		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科介護福祉専攻・2年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	野嶋 秀子		
授業の目的 (GIO)	<p>私たちはいつも初めての時を生きていくようにできています。過去の時間の蓄積が次の新たなる問題の解決に有効だと感じることができれば、それは人生の充実に繋がるとは思いませんか？問題解決能力を高めるような科学的なものの見方・考え方を他の一般教育科目と協同して身につけることを最終目的とします。</p> <p>高等学校までの化学では、様々な制約があるために、曖昧さを含まない厳密な実験を行うことは難しく、そのために化学が単なる暗記物の科目に陥っている嫌いがあることを残念に思っています。この状況を少しでも打開したいと思います。そこで、出来るだけ多くの基本的な実験を取り入れ、「化学は面白い」と感じさせることを第一の目的とします。</p> <p>まず始めに、化学の基本＝原子、分子、イオン、化学結合およびモル濃度について学習します。次に、水・油および界面活性剤について学習します。最後に、核化学について学習します。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<p>&lt;知識・理解の観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モル濃度を理解し、必要とする濃度の溶液を 天秤・測容器等を用いて調製することができる。</li> <li>・中和滴定を行うことができる。</li> <li>・電気陰性度を使って、水・油・界面活性剤の相互溶解について説明できる。</li> <li>・油脂と水酸化ナトリウム溶液から石けんを作ることができる。そのときの変化を説明できる。</li> <li>・核化学反応の特性について述べるができる。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断の観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上の一市民として、原子爆弾や原子力発電所について、関心を持ち思考し続けることができる。</li> </ul> <p>&lt;関心・意欲の観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力や原子力発電所について、調べる必要が生じたとき、調べることができる。</li> </ul> <p>&lt;態度の観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席し、真面目に実験を行い、レポートおよびホームワークを提出する。</li> </ul>		
授業の計画と内容	<p>第1講 ガイダンス, 有効数字, 科学的表記法, 元素, SI 単位系</p> <p>第2講 元素, 原子量, 分子量, モル濃度, 原子の構造</p> <p>第3講 対数について, 電子配置, イオン, 化学結合</p> <p>第4講 酸, 塩基, および塩, 中和反応について</p> <p>第5講 (実験)中和滴定</p> <p>第6講 (実験)食酢の酸度</p> <p>第7講 水, 油, 界面活性剤</p> <p>第8講 (実験)マヨネーズを作る</p> <p>第9講・第10講 (実験)石けんの合成 *2コマ続きで実施</p> <p>第11講 (実験) バターを作る</p> <p>第12講 核化学入門, 天然の放射性元素および人工の放射性元素</p> <p>第13講 核分裂反応と核融合反応</p> <p>第14講 放射線量, ベクレルおよびシーベルトについて</p> <p>第15講 原子力発電所</p>		
評価の方法	提出物 85%, 受講態度 15%		
テキスト	野島高彦著, 「はじめて学ぶ化学」, 化学同人(2012). プリント配布		
参考書	随時紹介します。図書館を大いに利用してください。		
学生へのメッセージ	高等学校で化学を履修しなかった学生も心配しないで履修してください。 まず 真面目に勉強しましょう。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.9

科目名	医療福祉システム論			
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年 社会福祉学科社会福祉専攻・2年 社会福祉学科介護福祉専攻・1年 こども学科・2年	単位数	1.0	
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義	聴講可
担当教員	江原 勝幸			
授業の目的 (GIO)	社会の高齢化が進展する中で、地域における保健・医療・福祉活動の実際や連携のあり方、地域ケアのシステム化などについて学ぶ。			
授業の到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健医療福祉サービスに従事する専門職の役割について述べるができる。</li> <li>2 保健医療福祉従事者の連携、協働の必要性と方法について考えることができる。</li> <li>3 地域ケアシステムのためにどのようなことが大切か記述できる。</li> <li>4 歯、口腔の機能及び歯科疾患の概要を述べるができる。</li> <li>5 要支援者、要介護者の歯科健康管理の必要性と方法について考えることができる。</li> <li>6 生存権を理解し、それらが規定されている意味から保健医療福祉の連携を考えることができる。</li> <li>7 現代の社会問題から保健医療福祉サービスが連携・協働する必要性を理解することができる。</li> <li>8 保健医療福祉専門職の連携・協働の課題について述べるができる。</li> </ol>			
授業の計画と 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>第1講 高齢者の特徴と地域ケアのシステム化</li> <li>第2講 難病地域ケアにおける専門職の役割と難病ケアシステムの構築</li> <li>第3講 医療保険制度、診療報酬及び介護報酬の概要と医療制度改革</li> <li>第4講 歯、口腔の機能及び歯科疾患</li> <li>第5講 要支援者、要介護者の歯科健康管理</li> <li>第6講 生存権の意義と保健医療福祉分野の連携</li> <li>第7講 家庭内の暴力・人権問題に対する保健医療福祉サービスの連携・協働</li> <li>第8講 地域包括ケアの推進における多分野専門職者連携の課題</li> </ol>			
評価の方法	授業態度(10%)、各教員に提出するレポート(各30%、合計90%)			
テキスト	特になし。適宜、資料はプリントを配布します。			
参考書	授業の中で適宜紹介します。			
学生への メッセージ	3人の教員によるオムニバス形式で行います。授業内容の順番は変更する場合があります。			

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.10

科目名	情報と生活		
学科(専攻)・学年	全学科1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	野村 卓志		
授業の目的 (GIO)	現代社会における我々の生活に必要な情報学の基礎と応用を学ぶ		
授業の到達目標 (SBOs)	情報化社会において身近なものとなった情報機器やネットワークシステムについて、その仕組みや特徴を学び情報システムを活用した生活や社会について理解してもらいます。情報機器やシステムを生活の中で活用できるようになることを目標とします。		
授業の計画と 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スマホがあればパソコンは要らない? ~クラウドコンピューティングで変わる IT</li> <li>2 クラウドを使ってみよう ~クラウドで活用するスマートフォン</li> <li>3 スマホとPCを使いこなそう ~インターネット利用環境</li> <li>4 メールとメッセージのちがい メール安全性</li> <li>5 知らない間に使ってた? ~意外と身近な暗号~</li> <li>6 iPhone が財布になる ~電子マネーのしくみ~</li> <li>7 数のかぞえ方 ~暗算が得意になる名数法~</li> <li>8 スマートフォンで情報を探す ~インターネットで変わった情報検索(その1)~</li> <li>9 スマートフォンで情報を探す ~インターネットで変わった情報検索(その2)~</li> <li>10 スマートフォンで情報を探す ~インターネットで変わった情報検索(その3)~</li> <li>11 インターネットで変わるビジネス(その1) ~ロングテール</li> <li>12 インターネットで変わるビジネス(その2) ~CDは無くなるの?</li> <li>13 自分の書棚を持ち歩く ~スマホで読む電子書籍~</li> <li>14 ビデオ定額配信 ~インターネットに対応したテレビ</li> <li>15 まとめ ~情報技術で変わる社会~</li> </ol>		
評価の方法	レポートによって評価します。		
テキスト	講義中に紹介します。		
参考書	講義中に紹介します。		
学生への メッセージ	講義の中で、スマートフォンを実際に操作して使い方を体験してもらいます。単に機器の操作を覚えるのではなく、その背景にある仕組みと活用法を考えてみましょう。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.11

科目名	病態学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	古賀 震		
授業の目的 (GIO)	人体の重要器官の解剖、生理、生化学的機能を理解した上で病態学について学ぶ。種々の基本的かつ重要な疾患及び病的状態とその機序について理解を深める。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器・呼吸器疾患(うっ血性心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈など)について理解し説明ができる。</li> <li>・呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺癌など)について理解し説明ができる。</li> <li>・消化器疾患(胃・十二指腸潰瘍、B型肝炎、C型肝炎と肝硬変など)について理解し説明ができる。</li> <li>・代謝・内分泌性疾患(糖尿病の機序と合併症、甲状腺機能亢進症と低下症など)について理解し説明ができる。</li> <li>・血液・造血管器疾患(貧血、白血病、出欠と血栓症および血液内皮細胞など)について理解し説明ができる。</li> <li>・腎疾患(急性腎不全、慢性腎不全、透析など)について理解し説明ができる。</li> <li>・脳・神経疾患(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、パーキンソン病など)について理解し説明ができる。</li> <li>・悪性新生物およびまとめ(ガン(消化器系ガン、肝胆膵のガン、呼吸器系ガン、脳・脊髄神経悪性腫瘍、腎臓・尿路泌尿器系ガン)など)について理解し説明ができる。</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 循環器・呼吸器疾患 うっ血性心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈など</p> <p>第2講 呼吸器疾患 慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺癌など</p> <p>第3講 消化器疾患 胃・十二指腸潰瘍、B型肝炎、C型肝炎と肝硬変など</p> <p>第4講 代謝・内分泌性疾患 糖尿病の機序と合併症、甲状腺機能亢進症と低下症など</p> <p>第5講 血液・造血管器疾患 貧血、白血病、出欠と血栓症および血液内皮細胞</p> <p>第6講 腎疾患 急性腎不全、慢性腎不全、透析など</p> <p>第7講 脳・神経疾患 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、パーキンソン病など</p> <p>第8講 悪性新生物およびまとめ ガン(消化器系ガン、肝胆膵のガン、呼吸器系ガン、脳・脊髄神経悪性腫瘍、腎臓・尿路泌尿器系ガンなど)の総論と各論</p>		
評価の方法	8割以上出席者を単位認定の対象とする。 小テスト20%、筆記試験70%、レポート10%などを考慮して総合評価を行う。		
テキスト	西崎統『図解 知っておきたい病態生理学』(医学書院)		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新歯科衛生士教本『生理学』(医歯薬出版)</li> <li>2. 『異常値の出るメカニズム』(医学書院)</li> <li>3. 北村惣一郎、総監修 からだと心の医学事典、(株)法研</li> </ol>		
学生への メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科衛生士になるため臨床の現場で重要と考えられる人体の病態学、疾患のメカニズムを理解してほしい。</li> <li>2. 授業で講義の内容の理解を深め効率的に行うには予習・復習は必要不可欠と考えられる。最低でも1時間以上行って欲しい。</li> <li>3. 毎回、前回の講義で重要な項目、内容に対して小テストを行う。予定している小テストができるように復習は特に頑張って欲しい。小テストは最重要項目を出題しているので有効活用することを期待している。</li> <li>4. 疑問点があれば、積極的に質問することも歓迎する。自ら行動し、自ら学ぶ姿勢を貫いて欲しい。</li> </ol>		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.12

科目名	微生物学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	吉田 直樹		
授業の目的 (GIO)	<p>微生物学を通して、生物界の自然法則を認識させるとともに、微生物と疾病との関わりを理解させることを目的とする。</p> <p>紀元前から現在までの微生物学の歴史について、感染について、微生物の分類について、微生物の一般的性状について、種々の感染症とそれを引き起こす病原微生物について、細菌の培養法と観察法について、免疫のしくみについて、化学療法について、滅菌と消毒について学ぶ。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物学の歴史について説明する</li> <li>・感染と感染症について説明する</li> <li>・微生物の分類について説明する</li> <li>・細菌の性状と病原性について説明する</li> <li>・主な病原性細菌について説明する</li> <li>・マイコプラズマ, スピロヘータ, リケッチア, クラミジアが引き起こす感染症について説明する</li> <li>・ウイルスの性状とウイルス感染症について説明する</li> <li>・真菌, 原虫が引き起こす感染症について説明する</li> <li>・細菌の培養法と顕微鏡観察法について説明する</li> <li>・免疫の仕組みについて説明する</li> <li>・免疫応答に関する臓器と細胞について説明する</li> <li>・抗原抗体反応について説明する</li> <li>・アレルギーについて説明する</li> <li>・化学療法について説明する</li> <li>・滅菌と消毒について説明する</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 微生物学概論 微生物学の歴史</p> <p>第2講 感染と感染症</p> <p>第3講 微生物の分類 細菌の性状と病原性</p> <p>第4講 主な病原性細菌</p> <p>第5講 マイコプラズマ, スピロヘータ, リケッチア, クラミジアが引き起こす感染症</p> <p>第6講 ウイルスの性状とウイルス感染症</p> <p>第7講 真菌, 原虫が引き起こす感染症</p> <p>第8講 細菌の培養法と顕微鏡観察法</p> <p>第9講 免疫(1) 免疫とは</p> <p>第10講 免疫(2) 免疫応答に関する臓器と細胞</p> <p>第11講 免疫(3) 抗原抗体反応</p> <p>第12講 免疫(4) アレルギー</p> <p>第13講 化学療法</p> <p>第14講 滅菌と消毒</p> <p>第15講 微生物学のまとめ</p>		
評価の方法	筆記試験(80%)と講義中の平常点(20%)により総合的に評価する。		
テキスト	最新歯科衛生士教本『微生物学』医歯薬出版, 講義プリント『微生物学』		
参考書			
学生への メッセージ	我々が生活している場には、種々多数の微生物が存在しており、我々の生活に複雑に関わりをもっている。この講義では、微生物をとおして生物界の自然法則を認識するとともに微生物の疾病との関わりあいを学んで欲しい。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.13

科目名	歯科薬理学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	川口 充		
授業の目的 (GIO)	主に、歯科臨床において用いられる薬物について、使用方法、生体内における作用機序、薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)、相互作用、副作用など薬物療法の基礎から応用に至るまでの知識を学ぶ。		
授業の到達目標 (SBOs)	<p>総論の重要性:薬理学を学ぶものはどのような立場であれ、「体とくすり」の関係をよく理解することが、薬の作用を理解するための基本である。この理解なくして、正しく薬を使うことはできない。そのような観点から、前期と後期に、薬学の立場と歯科臨床薬理学の立場から、それぞれ総論について講義を受ける。</p> <p>総論は、体と薬物の関係について基本的な概念・知識を習得する。</p> <p>各論は歯科で一番問題になる症状の緩和に用いられる薬物、および歯科衛生士が直接使用しなければならない薬物の知識を習得する。更に他科を受診している患者に対して、歯科で使用する薬物の対処について習得する。</p>		
授業の計画と内容	<p>授業は8回に分けて行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 臨床に携わる者に必要な薬物療法の基本知識             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 総論の知識を重点的に整理する。</li> <li>(2) 「社会問題と薬理学」、ひとつのテーマについて総論の学習を活かして考察してもらう。その結果を簡単なレポートにまとめ提出する。 今回のテーマ:「副流煙は本当に毒なのか？」</li> </ol> </li> <li>2) 痛みと薬物、痛みの種類と適応する薬物について学ぶ。 (全身麻酔薬、局所麻酔薬、鎮痛薬、解熱鎮痛薬、向精神薬)</li> <li>3) 炎症と薬物 炎症がなぜ起こるのか、歯科では抗炎症薬、鎮痛薬をどのような観点で使うのかを学ぶ。</li> <li>4) 感染症と治療薬、感染と予防薬 (抗菌薬、消毒薬)</li> <li>5) 外科処置と出血、 歯科の処置に出血はつきものである。止血機構を理解し、その対処について学ぶ。 一方、血栓症の治療薬を服用している患者に頻繁に遭遇する。抗凝血薬の作用機序の理解のもとに歯科で対処するための知識を学ぶ。</li> <li>6) 歯科処置 歯内療法 歯周療法 に使われる薬物の知識 (歯内療法治療薬、歯周疾患治療薬、口腔用薬、腐食収斂薬)</li> <li>7) 口腔内に現れる薬物の副作用 口腔内の症状と対応について学ぶ。</li> <li>8) 相互作用 歯科外来を受診する患者が罹患している内科、精神科等の治療薬と歯科で処方する薬物との間に起こる有害作用を学ぶ。</li> </ol>		
評価の方法	筆記試験、1回目講義のレポート		
テキスト	新歯科衛生士教本『薬理学』第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集		
参考書	<p>「ファンダメンタル4薬理学」永末書店</p> <p>「歯科薬理学」医歯薬出版</p> <p>「スタンダード歯学薬理学」学建書院</p>		
学生へのメッセージ	<p>高齢者人口の増加に伴い、内科疾患を持って歯科外来に受診する患者が増えている。歯科医療に従事する者は歯科領域に用いられる薬物に関する深い知識が必要とされるが、内科疾患を持つ患者に適切な対応をするためには、疾患と治療薬の関係について医療常識を身につけておく必要がある。短時間であるが、今後臨床経験を積んでいくための基礎学力を身につけることを期待する。</p>		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.14

科目名	歯科衛生統計学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・2年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	吉田 直樹		
授業の目的 (GIO)	人間社会の衛生、特に歯科分野における衛生に関する統計学を理解する。すなわち、歯科に関連した事象を観察し、それを、数量化して資料を作成することを学ぶ。さらに、それを整理し、分析を行って法則性を発見することを学ぶ。また、得られた資料に関して、合理的な推測や判断をするための方法を理解する。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査について説明する。</li> <li>・度数分布表とヒストグラムを作成する。</li> <li>・平均値, 標準偏差, 中央値, 最頻値について説明する。</li> <li>・2つの標本平均値の差の検定を説明する。</li> <li>・カイ二乗検定について説明する。</li> <li>・相関係数について説明する。</li> <li>・相関係数の検定を実施する。</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 統計分析法(1) 標本調査                  第2講 統計分析法(2) 度数分布                  第3講 統計分析法(3) 基本統計量の計算                  第4講 統計分析法(4) 正規分布                  第5講 統計分析法(5) 2つの標本統計値の差の検定                  第6講 統計分析法(6) カイ二乗検定                  第7講 統計分析法(7) 相関                  第8講 歯科衛生統計学のまとめ</p>		
評価の方法	筆記試験(80%)と講義中の平常点(20%)により総合的に評価する。		
テキスト	最新歯科衛生士教本『保健生態学 第2版』医歯薬出版, 講義プリント『歯科衛生統計学』		
参考書			
学生への メッセージ	歯科衛生統計学の基礎を確実に身につけてください。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.15

科目名	衛生学・公衆衛生学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	眞木 吉信		
授業の目的 (GIO)	人間または人間集団と周りの自然環境や社会環境とのかかわりを観察し、生態学的なバランスと適応の問題を考慮して、保健衛生のための手法や対策を考える。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の定義と予防の概念が説明できる。</li> <li>2. 健康に関わる疫学と統計が理解できる。</li> <li>3. 健康と環境の関連が説明できる。</li> <li>4. 地域保健の概要が説明できる。</li> <li>5. 健康に関わる現在の問題点を考えることができる。</li> </ol>		
授業の計画と 内容	第1講 健康と予防・疫学の定義と方法 第2講 人口の動向と統計・健康に関わる環境 第3講 地球環境と公害・医療廃棄物 第4講 感染症の予防と対策・食中毒の予防と対策 第5講 地域保健概論・母子保健 第6講 学校保健・職域保健 第7講 成人保健・老人保健 第8講 精神保健・国際保健		
評価の方法	筆記試験 80%とレポート 20%		
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>①最新歯科衛生士教本:保健生態学(医歯薬出版)第2版</li> <li>②国民衛生の動向 2017/2018(厚生労働統計会)</li> </ol>		
参考書	講義時に紹介する		
学生への メッセージ	基礎と臨床の橋渡しをする社会系の科目です。		



平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.16

科目名	歯周治療学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・2年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	吉田 直樹		
授業の目的 (GIO)	歯周疾患は、齲蝕とともに、口腔機能を減退させる歯科領域の二大疾患である。歯周疾患の原因、病態などを把握し、その予防法および治療法を理解し、歯周疾患治療に対する歯科衛生士としての役割を理解する。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周組織の構造と機能を説明する</li> <li>・歯周疾患の分類を説明する</li> <li>・歯周疾患の原因を説明する</li> <li>・咬合性外傷を説明する</li> <li>・歯周医学を説明する</li> <li>・歯周治療の進め方を説明する</li> <li>・歯周疾患の診査を説明する</li> <li>・歯周基本治療を説明する</li> <li>・モチベーション(動機づけ)を説明する</li> <li>・プラークコントロールを説明する</li> <li>・スケーリング・ルートプレーニングを説明する</li> <li>・咬合調整、暫間固定、限局矯正を説明する</li> <li>・歯周外科治療の目的と分類を説明する</li> <li>・種々の歯周外科治療(ポケット搔爬術、ENAP(新付着外科手術)、歯肉切除術、歯肉剥離搔爬術、歯周形成手術、再生療法)を説明する</li> <li>・根分岐部病変を説明する</li> <li>・歯周治療としての口腔機能回復治療を説明する</li> <li>・歯周病の研究について説明する</li> <li>・メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーを説明する</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 歯周治療学概論                  第2講 歯周組織の構造 歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨の構造と機能                  第3講 歯周疾患の分類                  第4講 歯周疾患の原因(1) 局所性因子に関して                  第5講 歯周疾患の原因(2) 全身性因子に関して                  歯周医学                  第6講 歯周治療の進め方                  第7講 歯周治療の導入、診査・診断、治療計画の立案と説明                  第8講 基本治療(1) モチベーション(動機づけ)、プラークコントロール                  第9講 基本治療(2) スケーリング・ルートプレーニング、咬合調整、暫間固定、限局矯正                  第10講 歯周外科治療(1) 歯周外科治療の目的と分類                  第11講 歯周外科治療(2) ポケット搔爬術、ENAP(新付着外科手術)、歯肉切除術                  第12講 歯周外科治療(3) 歯肉剥離搔爬術、歯周形成手術、再生療法                  根分岐部病変                  第13講 歯周治療としての口腔機能回復治療                  第14講 歯周病の研究について                  第15講 メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)                  歯周治療学のとまとめ</p>		
評価の方法	筆記試験(80%)と講義中の平常点(20%)により総合的に評価する。		
テキスト	最新歯科衛生士教本『歯周病学』(第2版)医歯薬出版、講義プリント『歯周治療学』		
参考書			
学生への メッセージ	歯周疾患は齲蝕とともに口腔機能を減衰させる二大疾患である。多くの歯周疾患は顕著な自覚症状を伴わない、慢性経過をとる炎症性疾患であるが、適切な口腔管理、特に歯口清掃を行えば予防も可能であると考えられる。また治療の予後にも歯口清掃は重要である。患者自身の継続した歯口清掃が必要であり、そのための患者教育が大変重要な意味を持つ。歯周疾患についての十分な知識を身につけ、予防およびメンテナンスの重要性、特に適切な患者教育の重要性を認識してほしい。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.17

科目名	歯科補綴学		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・2年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	千綿 一郎		
授業の目的 (GIO)	歯科補綴学は、歯冠の広範囲の欠損や歯牙の欠如部を人工的に補い、形態的・機能的な回復をはかり、咬合(噛み合わせ)や咀嚼機能(食べこなす機能)を維持し、口腔の諸組織を健全に保つことにより、患者さんの健康の維持や増進を図るものである。そこで、歯科補綴学の概要を理解するとともに、歯科衛生士として必要な補綴診療での歯科衛生士の役割を修得する。		
授業の到達目標 (SBOs)	歯科補綴学の目的を理解し、歯科衛生士として歯科補綴の治療における患者への診療業務や役割と適切なアシスタント業務が行えるような知識と実技を身につける。		
授業の計画と 内容	<p>第1講: 歯科補綴学概論 歯科補綴学の概要</p> <p>第2講: 補綴治療に関する基礎知識 歯列弓の形態、基準平面、顎口腔系の機能、咬合様式と顎運動</p> <p>第3講: 歯の欠損に伴う障害と補綴治療 歯の欠損に伴う変化</p> <p>第4講: 補綴装置の種類とその構造 クラウン・ブリッジ、全部床義歯、部分床義歯、特殊義歯</p> <p>第5講: 補綴治療における検査・診断</p> <p>第6講: クラウン・ブリッジ治療の実際 クラウン・ブリッジの種類 診療の流れ</p> <p>第7講: 有床義歯治療の実際 有床義歯治療の流れ</p> <p>第8講: インプラント治療の実際 インプラントとは、インプラント治療の流れ</p> <p>第9講: 補綴歯科治療に用いられる器材</p> <p>第10講: 補綴治療における歯科技工</p> <p>第11講: 歯科衛生士の役割、診査・診断</p> <p>第12講: 歯科衛生士の役割、治療時の業務</p> <p>第13講: 歯科衛生士の役割、患者指導 クラウン・ブリッジ、インプラント</p> <p>第14講: 歯科衛生士の役割、患者指導 全部床義歯、部分床義歯</p> <p>第15講: 器材の管理</p>		
評価の方法	試験(100%)		
テキスト	歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1」『歯科補綴』 医歯薬出版		
参考書	歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック 学建書院		
学生への メッセージ			

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.18

科目名	歯科診療補助論		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	中野 恵美子		
授業の目的 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士が行う歯科診療補助について、「歯科診療の補助」と「歯科診療補助」の異なりをはじめ、その意義と法的責任を理解する。</li> <li>・歯科医療環境の保全に努め、安全で効率的な歯科診療を患者が受療し、歯科医療チームが提供するための歯科診療補助を行うことができるよう、歯科におけるチーム医療のメンバーとしての意識形成を図る。</li> </ul>		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歯科診療補助」と「歯科診療の補助」を区別して説明する。</li> <li>・「歯科診療補助者」としての歯科衛生士の役割を説明する。</li> <li>・共同動作における術者・補助者・患者の姿勢を説明する。</li> <li>・ポジショニングに必要な歯科用ユニットの基本操作を実施する。</li> <li>・歯科診療室における薬品および歯科材料の管理の留意点を述べる。</li> <li>・歯科診療環境を整備する上で配慮が必要な項目を列举する。</li> <li>・歯科診療補助におけるどのような配慮がクライアントの安心・安全につながるかを討議する。</li> <li>・基礎疾患として HIV 感染症を有するクライアントの歯科診療補助における留意点を述べる。</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 歯科診療補助の意味                  第2講 歯科診療補助者としての歯科衛生士の役割                  第3講 共同動作の基本                  第4講 歯科用ユニットの操作と医療機器の管理                  第5講 薬品および歯科材料の管理                  第6講 診療環境の整備と事務的管理                  第7講 クライアントの視点から見た歯科診療補助とは                  第8講 クライアントの有する基礎疾患例 HIV 感染症</p>		
評価の方法	筆記試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)により総合的に評価する。		
テキスト	最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』医歯薬出版		
参考書			
学生への メッセージ	チーム医療のメンバーとして、患者さんに安全で快適な歯科医療を提供し、歯科医療チームの安全も確保するためにはどのようにしたらよいかを常に考えて行動しましょう。診療環境全体の管理ができる歯科診療補助者を目指してください。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.19

科目名	歯科受療支援論		
学科(専攻)・学年	歯科衛生学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	中野 恵美子		
授業の目的 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科診療補助をクライアントが自ら選んだ歯科医療を安心して最善なものとして受け取るための支援として位置づけ、臨床場面を想定して支援に必要な知識を身に付ける。</li> <li>・クライアントの受療行動の障害となる事柄とその事柄に対する支援の方法を考察する。</li> </ul>		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイタルサインについて説明する。</li> <li>・生体検査の補助における留意点を述べる。</li> <li>・モニタリングの意義を説明する。</li> <li>・笑気吸入鎮静法の特徴およびポンベの取り扱い上の注意を説明する。</li> <li>・医療事故関連用語の概略を説明する。</li> <li>・全身疾患を有する患者に対する局所的・全身的偶発症予防策を述べる。</li> <li>・クライアントの歯科受療行動の障害となる事柄と受療支援について討議する。</li> <li>・チェアサイドの患者支援としてのバキューム操作時の注意事項を述べる。</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 患者の全身管理(1) バイタルサイン                  第2講 患者の全身管理(2) 生体検査の補助                  第3講 患者の全身管理(3) モニタリング・笑気吸入鎮静患者の管理                  第4講 医療事故関連用語の整理                  第5講 全身疾患を有する患者への対応                  第6講 受療行動の障害となる事柄(1) 受診に至るまで                  第7講 受療行動の障害となる事柄(2) 受診から自主的な予防管理に至るまで                  第8講 チェアサイドの患者支援としてのバキュームテクニック</p>		
評価の方法	筆記試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)により総合的に評価する。		
テキスト	最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』医歯薬出版		
参考書			
学生への メッセージ	受療するクライアントの安全を確保するとともに、自分の行動がクライアントを支援するための歯科診療補助となっているかどうかを考えながら行動してください。また、診療室の中だけではなく、受療行動を妨げられているクライアントの支援についても一緒に考えましょう。		

## 平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.20

科目名	社会調査の基礎		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	久保 幸恵		
授業の目的 (GIO)	<p>社会福祉への需要が増大し、かつ多様化してきている今日において、福祉の受容者側が何を必要としているのか、現状にはどのような不満があるのか、それに対してサービスをどのように改善していくべきか、などの点に関して、サービスを提供する側の人々が現状を把握することが緊急の課題となっている。現状を把握するためには、研究者ばかりでなく現場で働く人たち自身も「社会調査」を実施することが求められている時代であるといえよう。この講義では、社会調査とは何かを理解し、また社会調査を具体的にはどのように行うべきか、その基本を身につけることを目的としている。この目的を実現するため、アクティブ・ラーニングの手法を講義に取り入れる。グループを作って、実際に“プチ”社会調査の一連の手続きを実習する。その際、聞き取り調査(質的調査)とアンケート調査(量的調査)を行うグループに、半数ずつ分かれてもらう予定である。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会調査を実施、発表するための知識や技法の基礎を修得する。</li> <li>・社会調査の手順の全体像を把握する。</li> <li>・社会調査においては、偏見にとらわれることなく対象者の権利を最大限尊重し、公平かつ誠実にデータを扱わなければならないことを学ぶ。</li> <li>・科学的に信頼するに足る社会調査を識別できるようにする。</li> <li>・複数の調査方法および分析方法を、状況に応じて参照し、また活用する能力を身につける。</li> <li>・社会調査の楽しさを実感する。</li> </ul>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 ガイダンス(講義形式の説明、社会調査の意義と目的)                  第2講 グループ作りと電子ファイルの扱い方の説明                  第3講 質問事項の作成                  第4講 依頼状の作成                  第5講 聞き取り調査もしくはアンケート調査の実施                  第6講 調査結果の電子ファイルへの入力方法の説明                  第7講 調査結果の電子ファイルへの入力                  第8講 アンケート調査の分析方法の説明①                  第9講 聞き取り調査の分析方法の説明                  第10講 アンケート調査の分析方法の説明②                  第11講 分析作業                  第12講 結果発表の準備作業                  第13講 結果発表①                  第14講 結果発表②                  第15講 担当教員による総評と、講義への参加度に対する自己評価</p>		
評価の方法	<p>担当教員による7項目の評価の合計点(70%)と、学生自身による6項目の評価の合計点(30%)による。</p>		
テキスト	指定なし。プリント配布。		
参考書	講義時に紹介します。		
学生への メッセージ	<p>抽象的な議論ではなく、実践的な知識の修得が本講義の目的です。グループ作業に積極的に参加することによって、社会調査を実際に行うのは楽しい作業であることを体験して欲しいと思います。</p>		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.21

科目名	福祉行財政と福祉計画		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・2年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	佐藤 仁之		
授業の目的 (GIO)	<p>地域福祉計画は、地方自治体の各種計画の総合的・横断的な行政計画として位置付けられており、地域福祉推進の基本方針や具体的な施策を定めたものである。授業では、地域福祉推進のあり方をふまえ、地域福祉計画の考え方や策定方法を理解する。</p> <p>この科目では、以下の3つの柱を授業の目的とする。</p> <p>①福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。)について理解する。</p> <p>②福祉行財政の実際について理解する。</p> <p>③福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<p>地域福祉推進の理念を前提に、地域福祉計画の系譜、社会福祉法の位置付け、地域福祉計画の基本的な考え方と策定方法、各種福祉計画との関連、住民福祉活動の計画等を理解する。</p> <p>この授業での学生の到達目標は、下記のとおりである。</p> <p>①福祉行政の実施体制について理解する。</p> <p>②福祉行財政の動向について理解する。</p> <p>③福祉計画の意義と目的について理解する。</p> <p>④福祉計画の主体と方法について理解する。</p> <p>⑤福祉計画の実際と評価方法について理解する。</p>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 福祉行政組織と仕組み</p> <p>第2講 福祉行政の財政と財源、国の財源、地方の財源、その他の財源</p> <p>第3講 老人保健福祉計画</p> <p>第4講 介護保険事業計画</p> <p>第5講 障害者福祉計画</p> <p>第6講 福祉計画の策定過程と問題分析</p> <p>第7講 福祉行政における専門職の役割と専門性</p> <p>第8講 地域福祉計画と今後の課題</p>		
評価の方法	レポート提出(100%)		
テキスト	新・社会福祉士養成講座 10「福祉行財政と福祉計画」(最新版)中央法規出版		
参考書	特になし		
学生への メッセージ	社会福祉を学ぶ学生として、人の心の痛みを理解できる学生として成長して欲しい。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.22

科目名	司法福祉		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・2年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	佐々木 光郎		
授業の目的 (GIO)	<p>司法福祉</p> <p>①司法と社会福祉の関連性を学び、司法福祉の領域およびその制度や特質を理解する。</p> <p>②司法福祉の分野における関係機関・専門職などについて理解する。</p> <p>③非行のある児童や少年の施設内処遇(児童自立支援施設、少年院)について理解する。</p> <p>④家庭裁判所における家庭に関する事件(児童虐待、離婚、親権等)の理解を深め、社会福祉との連携について理解する。</p> <p>更生保護制度</p> <p>○更生保護制度は、犯罪をした者及び非行のある少年に対し、社会の中で適切に働きかけることにより、彼等の社会復帰と再犯防止を目指す制度ですが、彼等の強い更生意欲だけでその実現は難しいものがあります。</p> <p>○授業では、本制度をよく知ってもらうとともに、福祉をはじめ関係機関等との連携のなかで、次々を打ち出される様々な施策について学んでいきます。</p> <p>以上のような内容を学習し、司法福祉・更生保護制度の領域における相談や援助、支援に必要な基礎知識および技法の習得を目指す。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<p>司法福祉</p> <p>①司法福祉の基礎概念と現状について把握する。</p> <p>②少年非行の背景および少年事件の法的手続きや制度等を理解する。</p> <p>③非行のある児童・少年に対する援助、支援に関する基礎的な知識と技法について理解する。</p> <p>④非行のある児童・少年に対する施設内処遇(児童自立支援、矯正教育)の実情について理解する。</p> <p>⑤家庭に関する事件について、その法的な解決や福祉的な援助について理解する。</p> <p>更生保護</p> <p>①更生保護の理念と制度について理解を深める。</p> <p>②更生保護の特徴である官民協働態勢について理解する。</p> <p>③恩赦や被害者支援制度について理解を深める。</p> <p>④司法と福祉の連携のあり方や必要性について考える。</p> <p>⑤更生保護に求められる課題と改善策について考える。</p>		
授業の計画と 内容	<p>第1講 更生保護制度の意義と概要について</p> <p>第2講 仮釈放と生活環境の調整について</p> <p>第3講 保護観察の処遇方法について</p> <p>第4講 恩赦制度と被害者支援について</p> <p>第5講 更生保護と福祉との連携について</p> <p>第6講 更生保護における新たな施策と今後の展望について</p> <p>第7講 司法と福祉、司法福祉の領域と関係機関</p> <p>第8講 少年非行の理解</p> <p>第9講 非行のある児童・少年に対する援助、支援</p> <p>第10講 児童自立支援施設における自立支援</p> <p>第11講 少年院における矯正教育</p> <p>第12講 家庭に関する事件①子どもの事件(児童虐待等)</p> <p>第13講 家庭に関する事件②夫婦の事件(DV、離婚等)</p> <p>第14講 家庭に関する事件③親子の事件(親権、特別養子縁組、面会交流等)</p> <p>第15講 司法福祉の今後と課題</p>		
評価の方法	レポート(100%)		
テキスト	講義の際にプリントを配布する。		
参考書	<p>①日本司法福祉学会編『司法福祉』生活書院</p> <p>②加藤幸雄・前田忠弘監修『司法福祉一罪を犯した人への支援の理論と実践一』法律文化社</p> <p>③松本勝 編著『更生保護入門』(第3版) 成文堂</p> <p>④社会福祉士養成講座編集委員会 編集</p>		

	<p>『新・社会福祉士養成講座 20 更生保護制度』中央法規  ⑤清水義恵 若穂井透 編著  『社会福祉士養成テキストブック 18 更生保護』ミネルヴァ書房</p>
<p>学生への  メッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非行の背景に、父母の親権濫用による児童虐待が指摘されます。法的に親権を制限することがあります。しかし、子どもの福祉や家族の再統合には、ケースワーク的・福祉的な援助、支援が必要です。このように、司法領域での問題と社会福祉とのかかわりを学びます。授業は具体的でわかりやすく進めます。(佐々木)</li> <li>・更生保護は国の施策として行われるものですが、地域社会の理解と協力が不可欠です。私たちは、彼等とどう向き合い、どう受け入れ、どう関わっていけば良いのか、一緒に考えていきましょう。(竹内)</li> </ul>



平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.23

科目名	家族支援論		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・2年 こども学科・2年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	奥田 都子		
授業の目的 (GIO)	この講義では、①現代の家族をとりまく社会環境と、家庭生活における人間関係についての理解を深め、なぜ「子育て支援」が必要となるのか、その背景要因を学ぶ。また、②それぞれの家族のニーズに応じた多様な支援対策の提供に向けて、子どもと家族の福祉をはかるための種々の援助活動や関係機関との連携について理解を深める。		
授業の到達目標 (SBOs)	①現代家族を取り巻く社会的状況をふまえて子育て支援の必要性について説明できる。 ②子育て家庭の支援体制について、社会資源の面と制度施策の面から説明できる。 ③子育て支援の具体的な展開方法を、事例に即して検討し提案することができる。		
授業の計画と 内容	第1講 「子育て」システムに組み込まれた恋愛・結婚・家族 第2講 家族の歴史的／通文化的理解 第3講 家族・家庭の意義と機能 第4講 家庭生活をとりまく社会的状況 (1)家族関係とその変容 第5講 家庭生活をとりまく社会的状況 (2)地域社会の変容と家族支援 第6講 家庭生活をとりまく社会的状況 (3)男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス 第7講 子育てをめぐる社会の変容 第8講 子育て家庭の支援体制～社会資源・制度施策・関係機関との連携 第9講 保育所入所児童と家族への支援 第10講 地域の子育て家庭への支援 第11講 要保護児童と家族への支援 第12講 子育て支援の事例検討(グループ・ワーク)①ひとり親 第13講 子育て支援の事例検討(グループ・ワーク)②虐待・DV 第14講 失敗事例に学ぶ保育士の子育て支援(ロールプレイ) 第15講 子育て支援の課題		
評価の方法	①リアクション・ペーパー 25% ②授業態度(発言、グループワークへの寄与、ロール・プレイへの参加) 25% ③最終レポート 50% 以上を総合して評価する。		
テキスト	井村圭壯・相澤讓治編著 『保育と家庭支援論』 学文社		
参考書	授業中に随時紹介する。		
学生への メッセージ	2年間の学びの総括の時期にあたる授業です。この授業を通して、これまでの学習で得た知識や技術を、子育て支援の場面でどのように活用していくかを考え、ロールプレイを通して実践力を高めましょう。		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.24

科目名	社会的養護内容		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・1年 こども学科・1年	単位数	1.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	演習 聴講可
担当教員	松浦 崇		
授業の目的 (GIO)	<p>家庭にさまざまな困難が生じた時、社会的に子どもを養育し、保護するシステムである「社会的養護」のニーズが高まっている。しかし、虐待をはじめとする問題は、その深刻さ、複雑さを増し、対応が非常に難しくなりつつある。また、子どもを護るべき施設で深刻な人権侵害が起こるなど、その処遇内容や支援のあり方が鋭く問われている。</p> <p>本授業では、さまざまな困難を抱える子どもの自立を支援し、権利を擁護する社会的養護(施設養護、家庭養護)の内容、支援の方法や技術、専門職に求められる倫理について、演習や事例検討を通し理解を深める。</p>		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、家庭養護(里親)における子どもの生活の実際や、そこで行われている支援の内容を説明できる。</li> <li>・支援のために必要な基礎的知識、技術および専門職に求められる倫理を習得し、自らの実践に生かすことができる。</li> <li>・施設や里親のもとで暮らす子どもの自立をめぐる課題、困難を理解し、子どもに必要な支援のあり方を検討することができる。</li> <li>・社会的養護問題について検討することを通し、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解を深める。</li> </ul>		
授業の計画と内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども、家庭をめぐる社会の状況</li> <li>2. 社会的養護をめぐる近年の状況</li> <li>3. 施設の小規模化と家庭養護の推進</li> <li>4. 施設養護の特性と実際(1) —施設におけるケアのプロセス—</li> <li>5. 施設養護の特性と実際(2) —施設における支援の実際—</li> <li>6. 施設養護の特性と実際(3) —自立支援計画の検討—</li> <li>7. 児童養護施設における基本的な支援の特性と実際</li> <li>8. 障害児系施設における基本的な支援の特性と実際</li> <li>9. 家庭養護の特性と実際(1) —里親制度の特徴と意義—</li> <li>10. 家庭養護の特性と実際(2) —家庭養護をめぐる課題—</li> <li>11. 子どもの権利擁護に向けた取り組み</li> <li>12. 家庭支援に向けた取り組み</li> <li>13. 社会的養護に関わる専門的技術</li> <li>14. 専門職に求められる資質と倫理</li> <li>15. 社会的養護の課題と展望</li> </ol>		
評価の方法	授業内の演習課題への取り組みなど平常点評価(30%)、期末試験(70%)により評価する。		
テキスト	特に指定をしない。授業中、随時プリントを配布する。		
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『保育福祉小六法(2017年版)』みらい、2017年。</li> <li>・西田芳正編著『児童養護施設と社会的排除』解放出版社、2011年。</li> <li>・渡井さゆり『大丈夫。がんばっているんだから』徳間書店、2010年。</li> </ul>		
学生へのメッセージ	<p>子どもは、愛情溢れる親と一緒に暮らすことが「普通」と考えられています。しかし、貧困や虐待により、親と共に生活することができない子どもたちが数多く存在しています。</p> <p>演習では、さまざまな困難を抱える子どもの問題に向き合うこととなります。時に辛くなることもあると思いますが、すべての子どもの幸せのため、共に問題について考えていきましょう。</p>		

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.25

科目名	臨床心理学			
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・2年 こども学科・2年	単位数	2.0	
開講年度学期	平成29度 後期	授業区分	講義	聴講可(但し、要面接)
担当教員	三田 英二			
授業の目的 (GIO)	臨床心理学は、心理検査、心理療法、地域援助の3分野からなる学問であるが、本講義では、主に個人の心に対するアプローチ(心理療法)を中心に講義する。 特に、相談援助技術の中で重要な「ちょっとした解決法」を援助者としてクライアントに助言するときに、主観と直感で助言するのではなく、理論に裏付けられた「ちょっとした解決法」を助言できるように各種心理療法理論の基本的な考え方について講義する。			
授業の到達目標 (SBOs)	様々な視点から、心理的な援助ができるようになること			
授業の計画と 内容	第1講 講義内容についてのガイダンス 第2講 適応・不適応のプロセス 第3講 面接について 第4講 心理アセスメントについて 第5講 心理アセスメントの種類 第6講 精神分析的人格理論 第7講 精神分析療法の基本的な考え方 第8講 クライアント中心療法の基本的な考え方 第9講 行動療法の基本的な考え方 第10講 コミュニティ心理学の基本的な視点 第11講 危機介入法の基本的な考え方 第12講 認知行動療法の基本的な考え方 第13講 解決志向療法の基本的な考え方 第14講 解決志向療法の応用 第15講 講義総括			
評価の方法	講義終了時にレポートの提出を求め、評価する(100%)			
テキスト	よくわかる臨床心理学改訂新版 下山晴彦(編) ミネルヴァ書房 3000円+税			
参考書	「解決志向グループワーク 臨床心理学の応用とその展開」ジョン・シャリー(著) 袴田・三田(監訳) 晃洋書房 2800円+税 また、講義中にその都度紹介する。			
学生への メッセージ	授業計画は、進度によって、多少変更されることがあるかもしれない。ご承知おきいただきたい。 なお、本講義は、こども学科との合同授業になります。			

平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.26

科目名	保育・教育課程論		
学科(専攻)・学年	社会福祉学科社会福祉専攻・2年 こども学科・1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	永倉 みゆき		
授業の目的 (GIO)	この科目では、保育における計画の基本的な考えを理解し、他教科の学びと関連させながら、指導計画を作成できる力を養う。具体例に学びながら、保育の計画の構造及び意義を理解した上で、記録の仕方、立案の仕方について学んでいく。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の立案から評価に至る保育課程の構造及び意義を理解する。</li> <li>2. 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいた保育の立案の仕方を理解する。</li> <li>3. 保育記録及び、指導計画作成ができる。</li> </ol>		
授業の計画と 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.保育における計画とは 保育課程の歴史</li> <li>2.教育課程・保育課程の編成 教育課程・保育課程の意義を学ぶ</li> <li>3.指導計画の実際 指導計画の目的・構造等を学ぶ</li> <li>4.指導計画の実際 指導計画の種類と役割について学ぶ</li> <li>5.保育における計画とは(乳児) 乳児の保育における計画の意義</li> <li>6.保育における計画とは(幼児) 幼児の保育における計画の意義</li> <li>7.指導計画の実際と評価 保育の過程について学ぶ</li> <li>8.保育における記録の意義 保育の過程の中での記録の意味</li> <li>9.保育記録を活かした保育の立案 記録から指導計画へ</li> <li>10.指導計画の実際(1) 長期の指導計画について学ぶ</li> <li>11.指導計画の実際(2) 短期の指導計画について学ぶ</li> <li>12.目的に応じた記録のあり方 様々な形式の日案について学ぶ</li> <li>13.日案を作成する 指導案の基本について学ぶ</li> <li>14.保育における評価 実践の評価から立案へ</li> <li>15.学修のまとめ 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』における教育課程・保育課程を理解する</li> </ol>		
評価の方法	受講態度 10%、小レポート 10%、定期試験 80%の割合で評価する。		
テキスト	戸田雅美 佐伯一弥編著『幼児教育・保育課程論』(建帛社) 文部科学省『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 厚生労働省『保育所保育指針解説書』(フレーベル館) 内閣府 文部科学省 厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館)		
参考書	各自の実習園の年間計画等		
学生への メッセージ	小規模であれ、大規模であれ、短時間であれ、長時間であれ、子どもを保育するためには保育のための計画が必要です。この科目では、保育の計画の意味を理解した上で、具体的な指導計画を検討していきます。		

## 平成29年度後期 社会人聴講生用シラバス

No.27

科目名	教育原理		
学科(専攻)・学年	こども学科・1年	単位数	2.0
開講年度学期	平成29年度 後期	授業区分	講義 聴講可
担当教員	永倉 みゆき		
授業の目的 (GIO)	この科目は、幼児教育者をを目指す者に必要な教育学全般の知識を学んだ上で、幼児教育者に求められる資質を育成することを目的とする。教育の概念の理解、教育思想、様々な教育制度、日本の教育の変遷等について学び、現在の子どもを巡る教育について理解する。		
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の意義・目的及び教育の制度について理解する。</li> <li>・教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。</li> <li>・教育の現状と課題について理解する。</li> </ul>		
授業の計画と 内容	第1講 教育原理で何を学ぶか 第2講 人間形成と教育 第3講 子ども観と教育観の変遷(1)― 古代・中世の子ども観と教育 第4講 子ども観と教育観の変遷(2)― 近代の子ども観と教育 第5講 様々な教育思想家 (ルソー ペスタロッチ フレーベル) 第6講 世界の子どもの教育の歴史(1)学校の誕生とその歩み 第7講 世界の子どもの教育の歴史(2)公教育制度としての学校の誕生 第8講 日本の子どもの教育の歴史(1)― 学制から昭和初期まで 第9講 日本の子どもの教育の歴史(2)― 戦後の復興と教育制度の再構築 第10講 カリキュラムの基礎理論(様々なカリキュラム) 第11講 指導法の具体例(ドルトンプラン・モリソンプラン・イエナプラン) 第12講 デューイの問題解決学習 キルパトリックのプロジェクトメソッド 第13講 現代の教育(1)「生きる力」の育成とは 第14講 現代の教育(2)教育と評価 第15講 教育専門職のこれから		
評価の方法	受講態度 10%、小レポート 10%、定期試験 80%の割合で評価する。		
テキスト	北野幸子編著『子どもの教育原理』(建帛社) 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 厚生労働省 『保育所保育指針解説書』(フレーベル館) 内閣府 文部科学省 厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館)		
参考書	汐見 稔幸 高田 文子『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房		
学生への メッセージ	教育原理と聞くと堅苦しい印象を持ちますが、今の皆さんの受けてきた保育や学校教育の基礎になっている原理です。教育の源流について一緒に考えていきましょう。		